

平成 28 年度第 1 回 豊岡市国民健康保険運営協議会会議録

1 日 時 平成 28 年 4 月 28 日 (木) 午後 1 時 55 分開会 午後 3 時 30 分閉会

2 場 所 豊岡稽古堂 1 階 交流室 1 - 4

3 出席者

委員 11 名

事務局 11 名

4 議事

報告事項

(1) 平成 27 年度豊岡市国民健康保険事業の実績について

① 医療費の実績

② 国民健康保険事業特別会計の決算見込み

協議事項

(1) 平成 28 年度国民健康保険事業運営の基本方針について

① 医療費の見込み

② 保険税負担額

その他

会議録（要点記録）

1 開 会	
2 あいさつ	
3 議事録署名人の指名	
4 議 事 ・ 報告事項	
議長	<p>それでは、議事を進めます。 まず、報告事項「(1) 平成 27 年度国民健康保険事業の実績について」事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>《資料説明》</p>
議長	<p>事務局の説明は終わりました。ご質問等がありましたらご発言ください。 無いようですので、次の協議事項に入ります。</p>
4 議 事 ・ 協議事項	
議長	<p>それでは次に協議事項「(1) 平成 28 年度国民健康保険事業運営の基本方針について」に入ります。 冒頭、ご挨拶でも申し上げましたが、本件につきましては、去る 2 月 24 日に諮問のありました事項について、本日、十分にご協議いただき、5 月 13 日に予定しております運営協議会において答申として取りまとめたいと思いますので、よろしくお願ひします。 それでは、事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>《資料説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 医療費の見込みについて ② 保険税負担額について
議長	<p>事務局の説明は終わりました。委員のみなさん、ご質問、ご意見等がございましたらご発言ください。</p>
委員	<p>医療費の伸びについて 1P (2) ア、イは、個人の要因によるものなのか、医療制度によるものなのか。もう少し説明をいただけないでしょうか。</p>
事務局	<p>資料 1 の 7 P 需要額の内訳をご覧ください。 例えば共同事業拠出金（支出）27 億、それに対応する共同事業交付金（収入）26 億、これは県下 41 市でそれぞれ拠出金を出し合って、医療費が嵩んだ市に対して拠出金の中から県から交付金として支払われるお互いに助け合うシステムです。交付金は直前 1 年間の実績、拠出金の方は過去 3 年間の実績から算出されるため、こういったものの読みが毎年難しいということがあります。今年も交付金より拠出金が増りました。こういった要因もありますが、やはり一番は医療費の増です。保険給付費 62 億であります。12 月補正させていただいております。 原因については究明しきれませんが、医療の高度化による医療費の伸びが大きいと考えております。上位 3 人の方は対前年度 3 千 800 万増えています。</p>

事務局	全国的な医療費の流れは必ず右上がり、個人的な伸びというより医療の高度化、可能となった医療が大きい要因ではないかと思っております。
委員	全体的な医療の高度化、右肩上がりなのに 28 年度の見込みを下げているのはなぜでしょうか。
事務局	4 P の基金の推移をご覧ください。上がる年と上がらない年があり動きが予測しにくいなかで、今年の見込みをどう見込むかということでございますが、厚生労働省の通達によりますと、医療費の過去 3 年なり 5 年の動向をみて、平均値をとりなさいということだと思いますが、これにより求めた結果であり過去の平均値をとりながら決して低い見込みというわけではございません。
事務局	資料の 5 P、6 P をご覧ください。項目によって単純に平均値を採用したものやそれぞれに検討しているものでございます。
委員	推計の考え方はどこかに示されているのでしょうか。
事務局	厚労省によります。
委員	まず基金、繰越しの考え方についてお尋ねしたい。 繰越しが出るということは残った金ということですよ。27 年度は 9,500 万円、28 年度は 1 億 2,200 万円、なぜ 27 年の方が黒字額が大きいのか。 次は薬価についてです。国の減額の対応を見込まれているのか。情報が入っているのか。新たな試算が必要ではないかと思えます。 また、次に医療費増は理解できるが税に反映するのは困る。基金だけでなく、一般会計繰入の方法もあることを言っています。県下他の自治体で一般会計から繰入しているところがあると思えますが、あればその資料がいただきたい。
事務局	まず決算のお尋ねです。予算編成時点で歳入を少なめ辛目にしておりました。また収納率 93%としていたが 93.7%であった。歳出は多めに組むため 1 億から 2 億毎年剰余金が出ております。 二番目についてですが、結論から申し上げますと加味しておりません。市では二人ですので、大きく率には影響しないとみております。 最後の一般会計繰入金についてですが、繰り入れたいところですがやはり法定外の繰入金ですので、県内でも繰り入れているところはほとんどないかと思われま。豊岡市では国保の方は約 25%です。75%の方が国保の方に税金を投じるというのはなかなかどうかと。基金が今ある状況で一般会計から繰り入れることはどうかと思っております。
事務局	今国保の方は 25%、75%の市民の方に自身の保険料プラス税金となると二重払いとなります。いつかは国保という方もあるが、分けるべきというのが今までの考え方でございます。
委員	次の会議までに県下の資料を出していただきたい。 高額な薬価について、28 年 4 月から国の方で下げなさいよと。おひとりで 360 万それが下がるわけですよ。いつまで飲むんですか。
委員	三か月で完治します。夢のような薬です。300 万かけても将来的には安いと思います。さすがにあまりにも高いので、厚労省が下げたということだときい

	<p>ています。</p>
委員	<p>お二人は三か月で終わりということですが、次に別の方が。</p>
委員	<p>そうですね。ご本人も気づいてない方がうじゃうじゃおられます。そこを何とかみつくてなんとかしたいと考えています。</p>
事務局	<p>試算しました。ソバルディが3か月で556万かかる、これが一人につき380万になる。一人につき176万の減額となります。またハーボニーは今使っている方はいらっしゃいませんが、112万が77万になるということで一人につき35万ほどの減になるんですが、そんなに何十人も使っていないので。</p>
事務局	<p>医療費総額約75億ございますが、75億分の中でさまざまな動き方をいたしますけれども、一つの要素が減ったからといってそれを反映させるほど、75億に影響与えるとはあまり考えられないと思っております。</p>
委員	<p>市の会計が危機的な状況である前に、25%の家の会計はもっと危機的状況だと思います。国保税が上がるなんて耐えられないと思っておられると思います。さきほど事務局がおっしゃられた収入は甘めに、支出は辛めにとすると、全体が膨らみますね。それは安全ではありますが、それを負担する加入者としては何としても抑えてほしいなという思いです。</p>
委員	<p>現場の意見からすると、下げよう下げようという意識は高くなっている。例えば湿布などはじゃぶじゃぶもらえていたのが、今は決められた数しかもらえません。極力ジェネリック薬品なんかを使って医療費をさげましょうというのは、最近感じます。いままで好き勝手やってきたつけが、皆さんやると危ないなと気づいてきたのかも感じます。自分で何とかしようと思わないとなかなか変わらないと思います。高額医療というのはどうしてもたくさん治したいという方がいらっしゃいますし、C型肝炎というのはもともと高いお薬、それが長期にかかると、もともと何十万かかっているものなので、これだけが高くなっているとは現場ではあまり感じていません。お医者さんもわれわれ薬剤師も残薬など、患者さんに聞くなどして、減らそう減らそうと努力していて、ここ数年いい方向に向かっていると感じています。</p>
委員	<p>もう少しお聞きしたいのが、今の6万円の薬ですね。開発費などで高くなっていると思いますが、出ていく量が増えれば、全体的に安くなりますよね。薬そのものの今後の見通しはどうでしょうか。</p>
委員	<p>8年たてば先発品の特許がきれるので、ジェネリックを出すことが可能。ただニーズによりますし、企業も利益につながるのであれば下げてくるであろうし、それに伴って先発品も下げてきますので全体的にはもっと下がってくると思います。ただそれが下がったからと言って、違うお薬がどんどん出てくるのでどうなのかなとは思いますが、根本的な改善にはつながらないのかなとは思いますが。</p>
事務局	<p>ソバルディ、ハーボニーなどこの4月の薬価改定の考え方についてですが、市場拡大の再算定という中で、一定規模のお薬が予想以上に売れたと、そういった品目については、薬価を下げて大丈夫というなかで、値下がりしたと。</p>

	<p>そのほかのオブジーボやレパーサなどはそういった対象でなかったの、引き続き高額のものもあるということがあります。たまたまソバルディ、ハーボニーは結果として安くなったということです。</p>
委員	<p>たくさん売れたので安くなっていると。</p>
事務局	<p>それだけ効果があったのでよく利用されていると。</p>
事務局	<p>後期高齢者支援金が安くなっています。ご存知のように支援金というのは共済とか協会けんぽとかどことも払っているものですが、たくさん所得のあるところからもっともっと支援金をとろうと、総報酬割導入により大企業からたくさん払ってもらうという動きがあります。よって国保は優遇されて支援金が下がる傾向にあります。</p>
委員	<p>官報に出された薬価の引き下げについてですが、今後の薬価の考え方はかいてあるのか。参考までに資料がいただきたいのですが。</p>
議長	<p>5分休憩します。</p>
議長	<p>再開します。</p>
委員	<p>生活一般としてはいろいろなものが上がっていくので、国保税も上がらない方がありがたいなあと思いますが、上げないとやっていけないのだし、それが無いとお医者さんにもかからないといけないし、難しいところではあります。</p>
事務局	<p>税もいろいろありますが、国保税は目的税で明確に決まっています、医療費にしか使ってはいけない。そうすると医療費をまかなうには国保税しかありません。補助金や国の制度でいろいろといただくんですが、私どもとしても歩いて暮らすまちづくりでありますとか、生活習慣病予防等、医療費が少しでも安くなるよう取り組んでおりますので、ご理解をいただけたらと思っております。</p>
委員	<p>仕方がないが、上がらない方がよいという意見です。</p>
委員	<p>資料1の9P基金について、2(2)ア、イについて、実際に運用されたことがあったのか。今後の見込みについて伺いたい。</p>
事務局	<p>今まで6億をキープしていたので、これを特に意識して運用してきてはおりません。これからは意識して運用していかななくてはならないとあらためて思っています。平成30年度から県単位化しますので、引き続き持つておくように県は指示しています。今後ちょっとずつこのへんの規定も変えていかななくてはならないとは思っています。</p>
委員	<p>国保財政調整基金の話ですよ。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
委員	<p>「最低積立額を下回った場合は、2年間の計画でもって最低積立額を上回るよう所要額を積み立てる」このへんの説明をもう一度ください。</p>

事務局	<p>本日提案させていただいた2Pの資料で、事務局としては基金の取崩額を1億でお願いしたいと考えておりますが、残額が来年の3月末が2億5千万円、今年の残高が2億2千800万で今年より来年の方が2千200万増えると。さらに29年度では残り6千万ほど足ってはおりませんが、何とか取崩額を少なくして基金保有額を増やしたい。ただ10%を超えてしまうと、今1億円の基金取崩しで対前年比国保税の伸び率109.8%でございますので、それ以上になりますと10%以上がってしまうと。いろいろと協議させていただいてぎりぎり1億円を取り崩させていただいて、伸び率を10%以内におさえて、さらに基金保有額についても今年度より来年の方が増えると。いくつかの視点から考え提案させていただいているところです。</p>
委員	<p>資料の中では4種類の基金取崩額があって、1億円基金投入の案が読み取れないですね。口頭で説明だけですか。資料だけでは読み取れません。口頭で言われた内容を受けて次の会議で初めて1億円取り崩すということが出てきて決めれということですか。</p>
事務局	<p>今日の会議で決めていただきたいということです。</p>
委員	<p>口頭で言われただけです。今日決めるということなんですか。</p>
議長	<p>今日決めないといけません。でないと何度も会議を開かないといけません。</p>
委員	<p>わかりました。ではなぜ1億5千万投入しないのでしょうか。</p>
事務局	<p>1億5千万取崩しますと基金残は2億円になってしまう。今年2億2千800万あったものが2億になってしまいます。さきほど基金の考え方で下回った場合には2年間で所要額を上回るよう計画をたてましょうという豊岡市で決めておりますので、さらにそれを減らすというのはどうかと。さらに基金が底をついてしまうと年度途中で医療費がどんと上がってしまったときに対応できなくなってしまう。また翌年度に10%どころでない大変上がってしまうということになりかねません。</p>
委員	<p>毎年そう言われています。財政的に安定を求めるのも理解できますが、市民の25%のふところ具合とかかねあいと考えていかないと。一年後に2億円割るかどうかは不明です。今のところは1億5千万入れて、市民の25%の暮らしを考えてたとえ5千万円でも入れる方がいいのではないのかと思います。</p>
事務局	<p>4Pをご覧くださいませでしょうか。27年度の基金取崩し額は2億4千700万、スタートは5千万であったんです。12月議会でさらに崩させていただいて結果的に2億4千700万となりました。今年のようなことがありますと基金残高が0になり、29年度が成り立たなくなってしまう。また27年度で国保税の値上げ幅は0%、今年が9.8%だとすると、2年間で9.8%、1年間では4.9%と考えていただけたら。基金しか財源がありませんので、ジェネリック等いろいろと取り組んでいきますが、医療費の伸びに追いつかない全国的な流れというものをご理解いただきたいと思います。</p>
委員	<p>わかってはおるつもりですが、それ以上にと思いましたので。</p>
委員	<p>今日は1億円取り崩す方向性について確認ご提案だと思っておりますが、収納率に</p>

	<p>についてのご説明がないように思います。先ほど一般会計からの投入の部分で、二重負担はおかしいという説明がありましたが、収納率 93%で割り戻して制度上自分たちが負担すべき以上の負担を求めるお願いをするのは制度上そうなっているんですが昔からいろいろとあるところなんです、ではお願いするのなら収納率上げる説明をいただいて、1 億のご提案をいただくべきかと思えます。</p>
事務局	<p>23 年度までは収納率 93%に達しておりませんでした。23 年度以降徐々に上向いてようやく 26 年度決算で 93.7%に達しました。27 年度決算は 94%に向かおうとしております。これもひとえに納税者の皆さんの意識が高くなったきたのかと、またコンビニ収納等納税環境の整備がされてきて納期内収納が進んできています。コンビニ利用率も国保税についていえば、前年の 1.2 倍と伸びてきております。それだけの効果があったということで収納率としては妥当なところかなと思っております。また今後も滞納処分を強化するだけではなくて生活に困窮していらっしゃる方、財産のない方については、処分の執行停止ということを含めて、今後とも収納率アップをはかっていきたいと考えております。</p>
委員	<p>生活困窮者に対してはしっかり手立てが必要だと思えますが、本来はかかった部分をかかった人がしっかり支えるという、収納率が上がっているというご尽力ご努力はわかりますが、もっと上を伸ばすというか、これが頭打ちなのか、というあたりのご認識についてのきかせていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>もちろんこれで前年を上回っているからいいとは考えておりません。理想は 100%です。ただ 100%というのはどこの自治体もございません。年ごとに何かもっと効率的な方法はないか、また理解していただく方法はないかを考えて、常に前年を上回る収納率をはかる方策をはかっていきたいと考えています。</p>
議長	<p>《意見取りまとめ》 それでは、このへんで質問を打ち切らせていただきたいと思えますが、ご異議ございませんか。 なければ、ここで意見を取りまとめとめていきたいと思えますがどのように。</p>
事務局	<p>1 億円でよろしいかどうか。</p>
議長	<p>それでは、当局より提案のありましたように、1 億円の基金を取崩すという方向でみなさんよろしいでしょうか。それでは挙手で賛成お願いできますでしょうか。</p> <p>《賛成多数》</p> <p>賛成多数ということで、認めさせていただきます。1 億円ということで算定していただくということでよろしく願いいたします。 それでは、本日も協議いただきましたご意見を基に事務局で税率を算定し、答申案をまとめ、次回の協議会で決定していく運びとさせていただきます。</p>
<p>4 議 事 ・ その他</p>	

議長	次に「その他」について何かございませんか。 事務局から何かありましたらお願いします。
5 閉 会	